

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	大臣会見等同時通訳者経費	担当部局庁	外務報道官組織	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始	担当課室	国際報道官室	佐藤国際報道官				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ－2 報道対策, 国内広報, IT広報					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第15項	関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・外務大臣による記者会見への同時通訳導入のため、必要な通訳者経費。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	・同時通訳の導入により、現在大臣等が行っている記者会見を同時通訳(日⇄英)するために必要な通訳者経費。同時通訳を導入することで、外国プレスへも同じタイミングで情報を発信する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	11	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	—	11	
	執行額		—	—	—			
	執行率(%)		—	—	—			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	・会見に出席する外国プレスの数 ・会見のネット配信へのアクセス数		成果実績	人				20
			達成度					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・外務大臣の会見における同時通訳の実施回数		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たり コスト	(126千円/回)		算出根拠	・会見1回あたりの通訳経費				
平成23 (単位:千円) 予算内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	通訳費	—	11,340	同時通訳者経費				
	計	0	11,340					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・執行にあたっては、工夫と無駄の排除により、限られた予算の有効活用に努めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業について精査した結果、一部事業の縮小	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			